※令和３年度以前入学生用

学校番号	214

令和５年度　理科

教科	理科	科目	物理	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	啓林館「物理」(物理 310)						
副教材等	セミナー物理基礎＋物理（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

予習をすること。最低限、教科書を読んでから授業を受けること。
授業ノートを作ること。計画的な問題演習を自宅学習で行うこと。

2　学習の到達目標

物理的な事物･現象に対する探究心を高め，目的意識をもって観察，実験などを行い，物理学的に探究する能力と態度を身につけるとともに，物理学の基本的な概念や原理･法則の理解を深め，科学的な自然観を育成する。

問題解答能力を身につけること。知識、論理的思考力、計算力、文章表現力、読解力、問題処理速度を総合的に鍛える。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	（１）新しい知識を習得することに対してその価値を理解しているか。 （２）計画的な学習活動をすることができるか。 （３）自らの学習過程を振り返ることができるか。	（１）論理的な思考をすることができるか。 （２）批判的なものの見方ができるか。 （３）相手に正確に伝える文章を書くことができるか。	（１）基本的な実験器具を取り扱うことができるか。 （２）定量的にデータを取り扱うことができるか。 （３）基本的な実験操作を安全に行うことができるか。	（１）物理の基礎知識を習得しているか。 （２）因果律に基づいた物理現象の説明をおこなうことができるか。
評価方法	（１）授業ノート （２）問題集提出	（１）定期考査 （２）課題	（１）定期考査 （２）実験レポート （３）課題	（１）定期考査 （２）課題

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	光 電界と電	第1節 光の性質 第2節 レンズと球面鏡 第3節 光の回折と干渉 第4節 静電気 第5節 電場 第6節 電位	○	○	○	○	a:光と電場・電位を理解している。 b:グループワークに貢献している。 c:光と電場・電位の実験が出来る。 d:光と電場・電位を考察する。	定期考査 提出物 授業態度
1	電流 電流と磁界	第1節 電　流 第2節 直流回路 第3節 半導体 第4節 磁気力と磁場 第5節 電流がつくる磁場 第6節 電流が磁場から受ける力 第7節 ローレンツ力	○	○	○	○	a:電流と磁場を理解している。 b:グループワークに貢献している。 c:電流と磁場の実験が出来る。 d:電流と磁場の性質を知っている。	定期考査 提出物 授業態度
2	電磁誘導と電磁波	第1節 電磁誘導の法則 第2節 磁場中を運動する導体の棒 第3節 自己誘導と相互誘導 第4節 交　流 第5節 電気振動と電磁波	○	○	○	○	a:電磁誘導を理解している。 b:グループワークに貢献している。 c:電磁波の実験が出来る。 d:電磁誘導を考察する。	定期考査 提出物 授業態度
2	電子と光	第1節 電子の電荷と質量 第2節 光の粒子性 第3節 X　線 第4節 粒子の波動性	○	○	○	○	a:電子と光の関係を理解している。 b:グループワークに貢献している。 c:光電効果の実験が出来る。 d:粒子の波動性を理解している。	定期考査 提出物 授業態度
2～3	原子・原子核・素	第1節 原子モデル 第2節 放射線と原子核 第3節 原子核反応と核エネルギー 第4節 素粒子と宇宙	○	○		○	a:原子と原子核を理解している。 b:グループワークに貢献している。 d:素粒子と宇宙を理解している。	定期考査 提出物 授業態度

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:観察・実験の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。